

千葉県におけるヒナコウモリの初記録

浅田正彦¹⁾・立川浩之²⁾・高山順子³⁾・村田明久²⁾・前田喜四雄⁴⁾

¹⁾ 千葉県立中央博物館

〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2

E-mail: m.asd@mc.pref.chiba.jp

²⁾ 千葉県立中央博物館分館海の博物館

〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾 123

³⁾ 千葉県立安房博物館

〒294-0036 千葉県館山市館山 1564-1

⁴⁾ 奈良教育大学附属自然環境教育センター

〒630-8528 奈良県奈良市高畑町

要旨 2003年3月1日に千葉県鴨川市東町においてヒナコウモリ (*Vespertilio superans*) を保護した。これは本種の千葉県内での初記録である。

キーワード: ヒナコウモリ, 千葉県, 初記録, レッドデータブック。

千葉県のコウモリ相として、これまで、キクガシラコウモリ (*Rhinolophus ferrumequinum*)、コキクガシラコウモリ (*R. cornutus*)、モモジロコウモリ (*Myotis macrodactylus*)、アブラコウモリ (*Pipistrellus abramus*)、ユビナガコウモリ (*Miniopterus fuliginosus*) の5種の生息が確認されており (千葉県環境部自然保護課, 2000)、過去に1度だけヤマコウモリ (*Nyctalus aviator*) の採集記録 (Yoshiyuki, 1989) がある。今回、県内においてヒナコウモリ (*Vespertilio superans*) を保護したので、ここに県内初記録として報告する。

保護の概要

2003年3月1日午前8時頃、千葉県鴨川市東町にて著者のひとりの立川がマンション12階の外廊下の床上にいる衰弱したコウモリ1頭を保護した。保護地点は海岸線より約100mの地点で、海沿いに建っているマンションの北側 (内陸側) であった (図1)。天候は採集した日が曇りのち雨で、前日が快晴だった。保護は傷病鳥獣保護の目的で千葉県環境生活部自然保護課担当者が所持している捕獲許可証にもとづいて行な

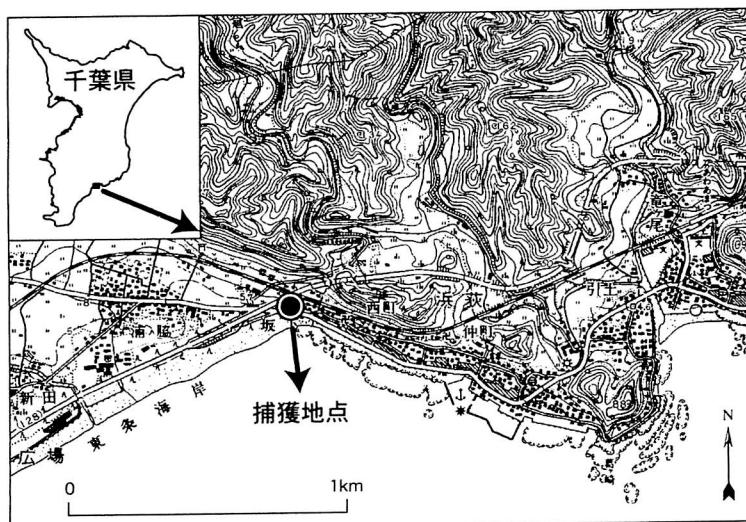


図1. ヒナコウモリの保護地点。国土地理院数値地図25000「安房小湊」より作図した。



図2. 2003年3月1日に千葉県鴨川市で保護したヒナコウモリ。

われた。

保護後、その地点より約13km離れた千葉県勝浦市にある千葉県立中央博物館分館海の博物館にて飼育された。保護されたコウモリの体重は電子天秤(0.1g単位)を、前腕長はノギス(0.1mm単位)を用いて計測された後、給水、給餌(バナナ、ネコ用生餌)がピンセットを用いておこなわれた。給水、給餌後には、動きが活発になり、飛翔を数回試みたり、移動を始めた。翌3月2日午後6時頃、保護地点で放獣したところ、自発的に飛翔していった。

計測と同定

給餌前の体重は17.0gであり、前腕長が48.5mm、頭胴長は約70mmであった。体毛は黒褐色で先端が白い刺毛が多数混ざっていた(図2)。

保護の様子をビデオ撮影しており、その映像と上記の計測値をもとに、著者のひとりの前田がヒナコウモリ(*Vespertilio superans* Thomas, 1899)と同定した。

ヒナコウモリはシベリア東部、中国東部、台湾に分布し、国内では北海道、本州、九州からの採集記録がある(阿部ほか, 1994)。繁殖場所としては、北海道(百年の森ファンクラブコウモリ調査グループ, 2001)、岩手県、青森県(向山, 1996)、滋賀県(滋賀県琵琶湖環境部自然保護課, 2000)、福井県(福井県福祉環境部自然保護課, 2002)、福岡県(福岡県環境部自然保護課, 2001)が知られているが、これらの多くのコロニーが家屋や寺社などの人工構造物を利用しており、衛生上の問題で追い出されることもあり、安定した繁殖を継続できない状況にある(向山, 2000)。関東近県では神奈川(神奈川県立生命の星・地球博物館, 1995)、群馬県(群馬県環境生活部自然環境課, 2002)、埼玉県(埼玉県環境防災部みどり自然課, 2002)、栃木県(栃木県林務部自然環境課, 2002)で生息情報があるもの

の、いずれも生息地点は1~数カ所に限定されている。環境省版レッドリスト(環境省, 2002)では「VU(絶滅危惧Ⅱ類)」に、日本哺乳類学会編レッドデータでは「希少」とされており(日本哺乳類学会, 1997)、全国的にみても絶滅の危険性の高い種であるといえる。

本種の生息環境としては、主に樹洞や海蝕洞などで繁殖するが、樹洞をもつような大木が少なくなっており、家屋も利用する(阿部ほか, 1994)。関東地方では冬眠場所として、石灰岩の割れ目(鈴木, 1978)や家屋の瓦屋根の下(山口, 2000)が知られている。今回保護した個体のねぐらや行動圏の場所は不明だが、早急に周辺に海蝕洞や、樹洞のできるような大木、住宅地などにおいて生息状況を調査し、適切な保全策を講じる必要がある。

引用文献

- 阿部 永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明. 1994. 日本の哺乳類. 195 pp. 東海大学出版会, 東京.
- 千葉県環境部自然保護課. 2000. 千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編. 438 pp. 千葉県環境部自然保護課, 千葉.
- 福井県福祉環境部自然保護課. 2002. 福井県の絶滅のおそれのある野生動物. 243 pp. 福井県福祉環境部自然保護課, 福井.
- 福岡県環境部自然保護課. 2001. 福岡県の希少野生生物. 447 pp. 福岡県環境部自然保護課, 福岡.
- 群馬県環境生活部自然環境課. 2002. 群馬県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編. 190 pp. 群馬県環境生活部自然環境課, 前橋.
- 百年の森ファンクラブコウモリ調査グループ. 2001. 羊蹄山・ニセコ山系地区翼手類調査報告(1). 小樽市博物館紀要 14: 127-132.
- 神奈川県立生命の星・地球博物館. 1995. 神奈川県

- レッドデータ生物調査報告書. 神奈川県立博物館調査研究報告 (自然科学) 7. 257 pp. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 環境省. 2002. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック— 1 哺乳類. 175 pp. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- 向山 満. 1996. 青森におけるヒナコウモリの繁殖集団. 青森自然誌研究 1: 9-12.
- 向山 満. 2000. ヒナコウモリ. 青森県の稀少な野生動物. pp. 102-122. 青森県環境生活部自然保護課, 青森.
- 日本哺乳類学会 (編). 1997. レッドデータ 日本の哺乳類. 279 pp. (株) 文一総合出版, 東京.
- 埼玉県環境防災部みどり自然課. 2002. 改訂・埼玉県レッドデータブック 2002 動物編. 257 pp. 埼玉県環境防災部みどり自然課, 埼玉.
- 滋賀県琵琶湖環境部自然保護課. 2000. 滋賀県で大切にすべき野生生物 (2000 年版). 176 pp. 滋賀県琵琶湖環境部自然保護課, 大津.
- 鈴木欣司. 1978. 埼玉の哺乳類. 埼玉県動物誌. pp. 31-44. 埼玉県教育委員会, 浦和.
- 栃木県林務部自然環境課. 2002. 栃木県自然環境基礎調査 とちぎの哺乳類. 182 pp. 栃木県林務部自然環境課, 宇都宮.
- 山口喜盛. 2000. 神奈川県西丹沢で越冬したヒナコウモリ. コウモリ通信 8(2): 4-6.
- Yoshiyuki, M. 1989. A Systematic Study of the Japanese Chiroptera. 242 pp. The National Science Museum, Tokyo.

(2005 年 3 月 1 日受理)

The First Record of the Common Parti-coloured Bat (*Vespertilio superans*) in Chiba Prefecture, Japan

Masahiko Asada¹⁾, Hiroyuki Tachikawa²⁾, Junko Takayama³⁾, Akihisa Murata²⁾ and Kishio Maeda⁴⁾

¹⁾ Natural History Museum and Institute, Chiba 955-2 Aoba-cho, Chuo-ku, Chiba 260-8682, Japan
E-mail: m.asd@mc.pref.chiba.jp

²⁾ Coastal Branch of Natural History Museum and Institute, Chiba 123 Yoshio, Katsuura, 299-5242, Japan

³⁾ Chiba Prefectural Awa Museum 1564-1 Tateyama, Tateyama, 294-0036, Japan

⁴⁾ Center for Natural Environment Education, Nara University of Education Takahata-cho, Nara, 630-8528, Japan

A common parti-coloured bat (*Vespertilio superans*) was captured in Kamogawa-shi, Chiba prefecture, central Japan on March 1 in 2003. This is the first record of this species in Chiba prefecture.